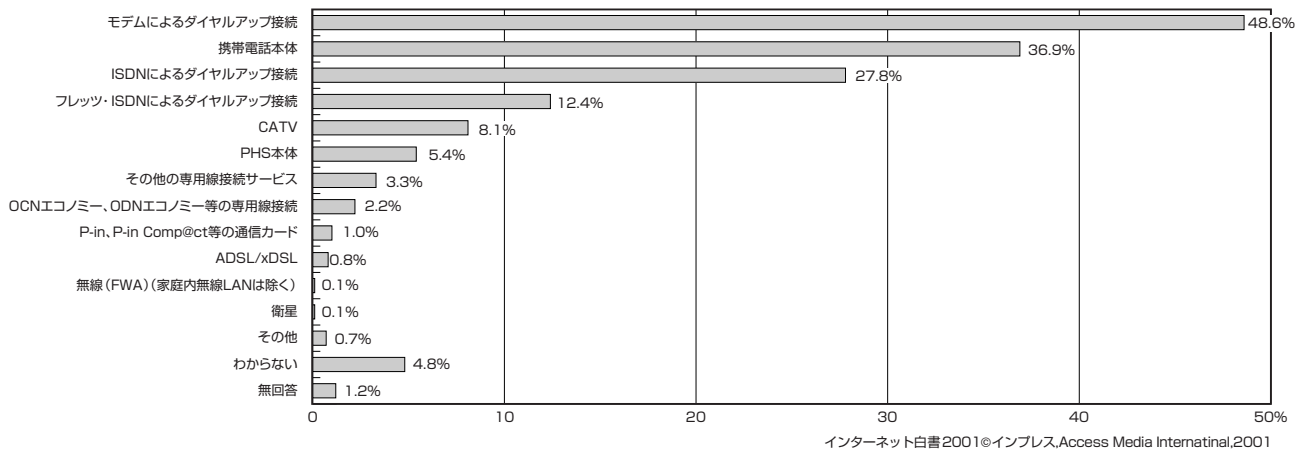


第3章 パソコン利用者

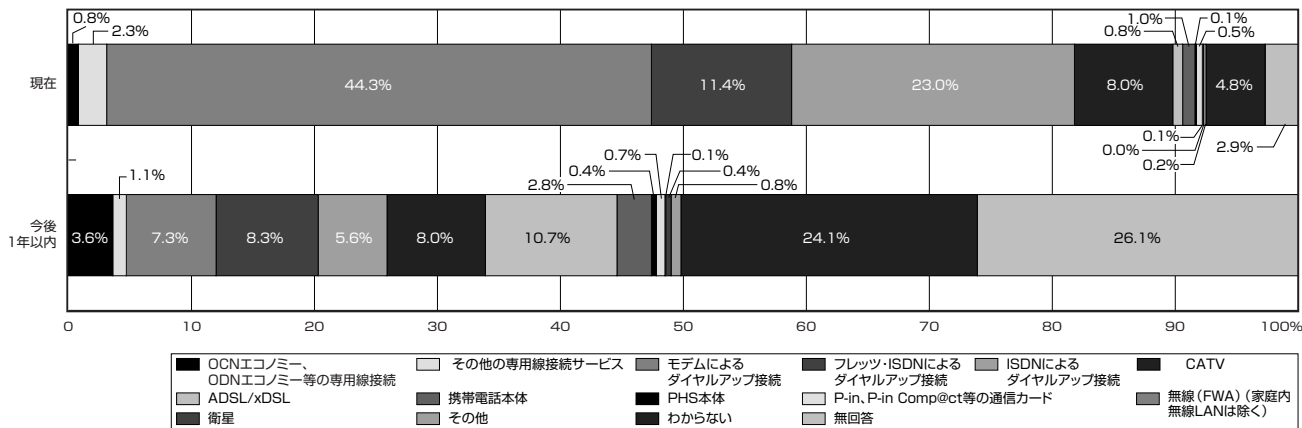
通信環境

ISDNフレッツ、CATV、DSLが躍進

資料1-3-43 現在利用しているすべての接続方法 N=1,684



資料1-3-44 主な接続方法(現在/今後1年以内) N=1,684



解説

■通信環境

今年はパソコン以外のインターネット接続機器の利用を考慮して、現在利用しているすべての接続方法を聞いた。全体では「モデムによるダイヤルアップ接続」が48.6%と依然として最も多いが、2位には「携帯電話本体」(36.9%)からの接続が挙げられている。また、3位の「ISDNによるダイヤルアップ接続」も4位の「フレッツ・ISDNによるダイヤルアップ接続」を加えれば着実に接続方法として定着したといえる。主な接続方法も「モデムによるダイヤルアップ接続」が

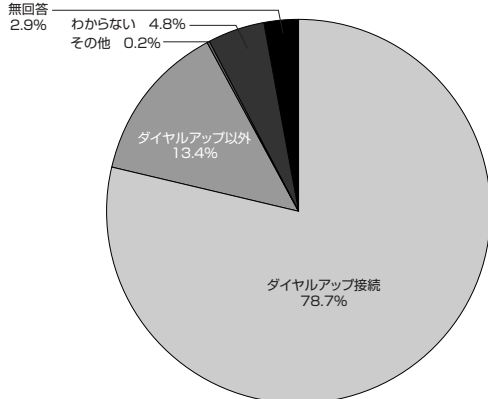
44.3%と主流であることは変わらない。特色は「ISDNによるダイヤルアップ接続」(23.0%)、「フレッツ・ISDNによるダイヤルアップ接続」(11.4%)の急増が顕著である点や、昨年3.2%だった「CATV」(8.0%)の着実な伸長である。性別年代別では10代、20代や女性で「携帯電話本体」「PHS」が相対的に高く、「フレッツ・ISDN」「ISDN」「CATV」は40代で高くなっている。

昨年から本格スタートしたADSLの接続サービスについては実際には地域が限られていることなどから0.8%に留まって

いる。しかし、今後1年以内の予定では10.7%と最も期待が高い。インターネット接続では携帯電話/PHSによるワイヤレス化やブロードバンド化が急速に進むと同時に選択肢も増えており、現状の利用者にとっては今後の予定を立てにくい状況となっている。そのため、今後1年以内の予定については半数が「わからない」か「無回答」としている。

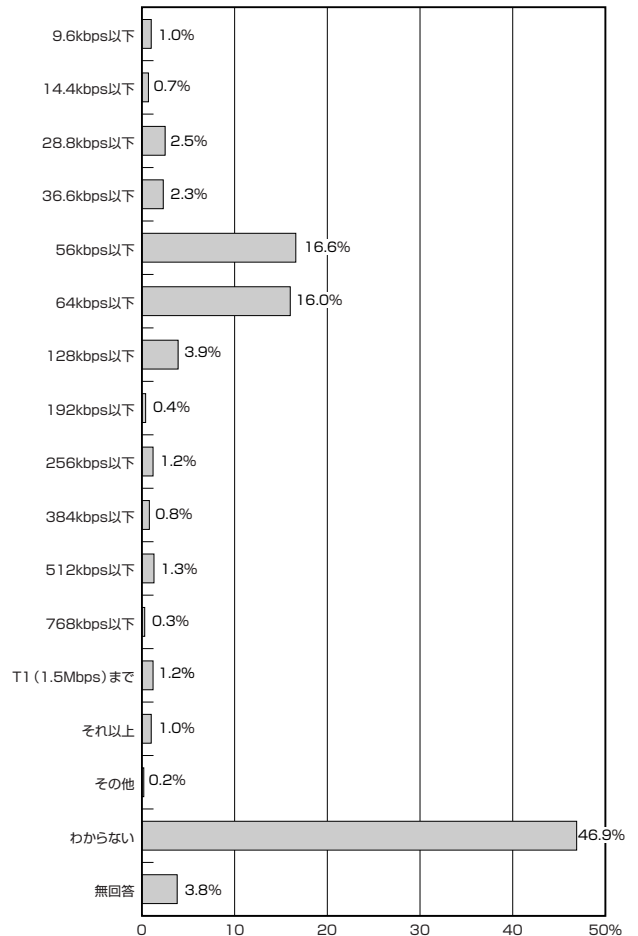
主な接続方法にみる、ダイヤルアップとそれ以外の比率をグラフ化したのが資料1-3-45である。インフラの発展状況により、利用者の接続方法は短期間に変化

資料 1-3-45 主な接続方法にみるダイヤルアップとそれ以外の比率 N=1,684



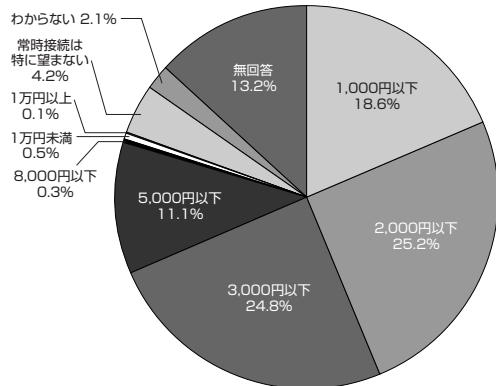
インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-47 主な利用最大通信速度 N=1,684



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

資料 1-3-46 今後、常時接続を望む場合の適正月額料金 N=1,325



インターネット白書2001©インプレス,Access Media International,2001

解説

しうが、市場に投入されるパソコンにはすでにモデムが実装されているケースも多い。特にエントリー層の大量参入が続く限り「とりあえず接続してみる」という状況は急には減少せず、少なくとも今後1~2年はダイヤルアップ接続が主流であることは変わりないとみられる。

昨年から本調査の設問に加えた、現状で常時接続でない人に常時接続を望む場合の適正月額料金については、68.5%が「3,000円以下」と回答している。常時接続するとしても月々の支払いは3000円程度に抑えたいという意向は昨年の63.6%

に比べさらに強い。「5,000円以下」も11.1%と昨年の20.9%から減少している。一方、「常時接続は望まない」とする回答は昨年の11.1%から4.2%に減少しており、言い換えれば「常時接続は望ましいが利用料金は安く」という気持ちが強くなっていることがわかる。性別にみると男性で「常時接続は特に望まない」という回答が女性より比較的高かった。

個人利用者の現在の通信速度は、昨年と比べてほとんど変わっておらず、主流はモデムによるダイヤルアップ接続と思われる「56kbps以下」からISDNによるダ

イヤルアップ接続と思われる「64kbps以下」となっている。また、「わからない」と「無回答」を合わせると半数を超え、1999年の9.3%、昨年の36.4%から急増しているのが特徴的である。特に女性でその傾向が強くなり、年々初心者が流入して来るなかで通信速度のようなスペックの認識が落ちてきていることの表れだろう。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp